



Fanstaの1年を大解剖！ 一人SREはどこまでできるのか！？

株式会社MIXI 井上 翔太



名前:しよっさん

X(旧: Twitter) / mixi2: @syossan27

所属: MIXI

活動:

- SRE Kaigi
- SRE Magazine
- ゆるSRE勉強会

宣伝！①

2025/01/26にSRE Kaigiというカンファレンスを開催します！！！！
参加チケット絶賛発売中！！！！



SRE Magazine 第6号発刊しました！ 寄稿していただける方も常時募集中！！！！



The screenshot displays the SRE Magazine website interface. At the top left is the logo, a red circle containing a pencil icon, followed by the text "SRE Magazine". Below the logo is a dark navigation bar with four items: "SRE Magazineについて", "寄稿の募集", "お問い合わせ", and "RSS". The main content area features the issue title "006号 (2024/12/01)" and a date "2024-12-01". A "目次" (Table of Contents) section is highlighted with a dark background. The table of contents lists four items:

- 巻頭言：SREのアンチパターンを改めて探ってみよう
- データ分析基盤の運用にSREのプラクティスを取り入れる
- サクッとやってみる障害対応訓練
- SREの要素とオブザーバビリティの実践への道のり

ゆるSRE勉強会、来年もやっています！
今年最後の開催の様子はTogetterでチェック！！

トップ > 2024年 > 11月 > 30日 更新 3日前 ⋮

ゆるSRE勉強会 #8 まとめ #yurusre

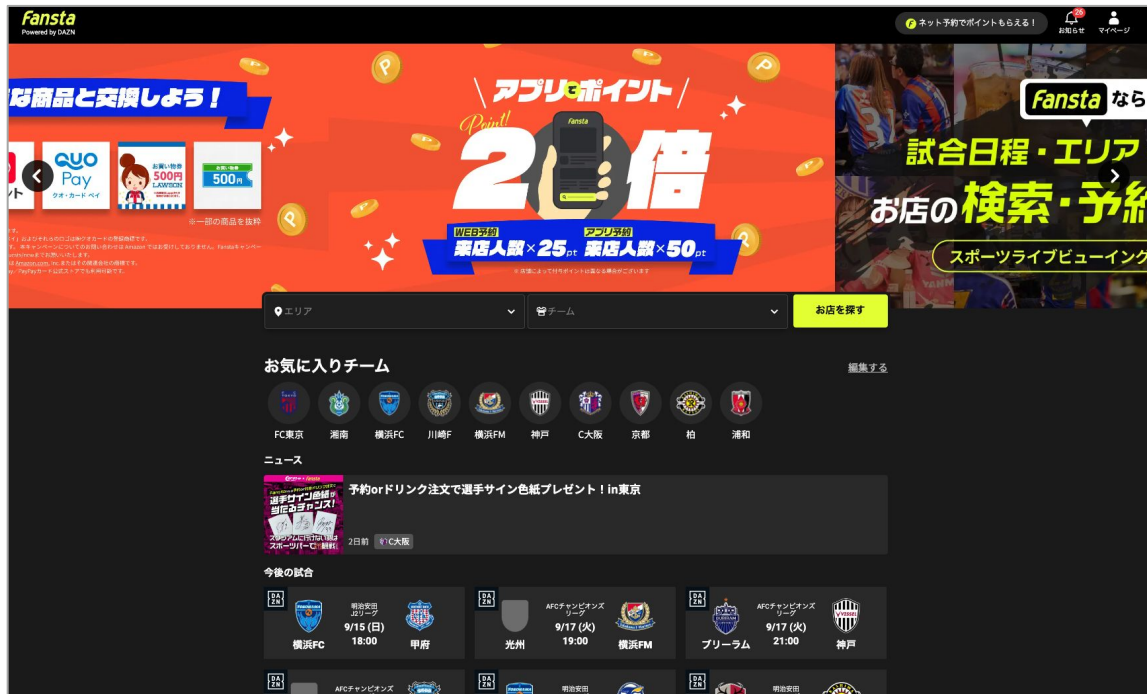
ゆるSRE勉強会 #8 の様子です。
connpass : <https://yuru-sre.connpass.com/event/332731/>

テクノロジー sre yurusre 勉強会

俺 syossan27 407 0 0 0 0 0



ここから本題



©Fansta

- スポーツ観戦ができる飲食店に特化した検索サービス
- スポーツ観戦できる飲食店をエリアやチーム、放映予定から検索し、予約できる
- お店にとってはスポーツ観戦ができることを告知し、集客することができる



皆様
今年もお疲れ様でした



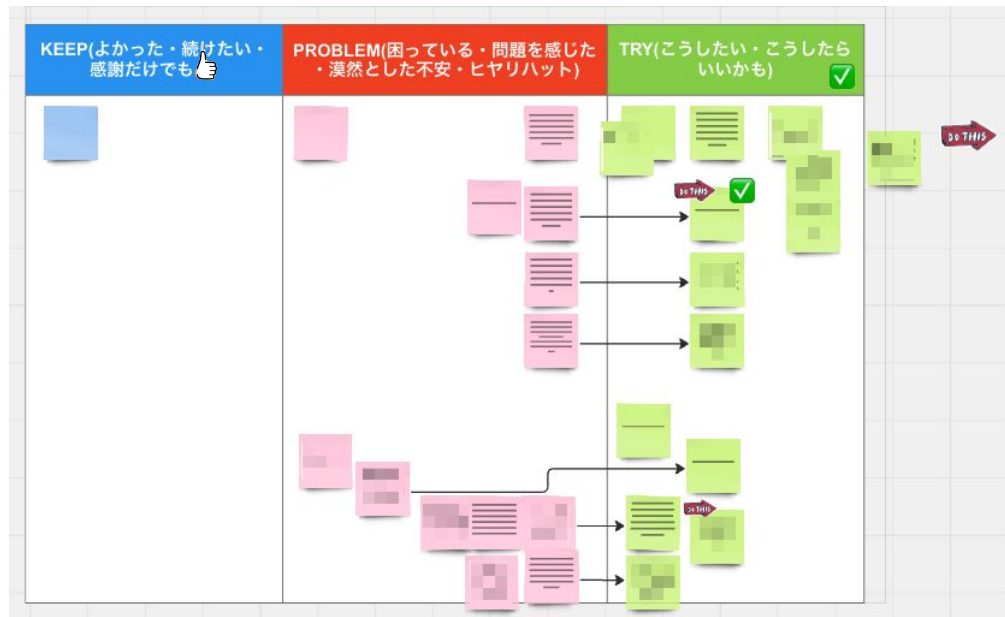
今年振り返りまし
た？

Fanstaでは四半期ごとに振り返り👍

タイムライン



KPI



SREに絞って
1年を振り返ってみよ
う



前提



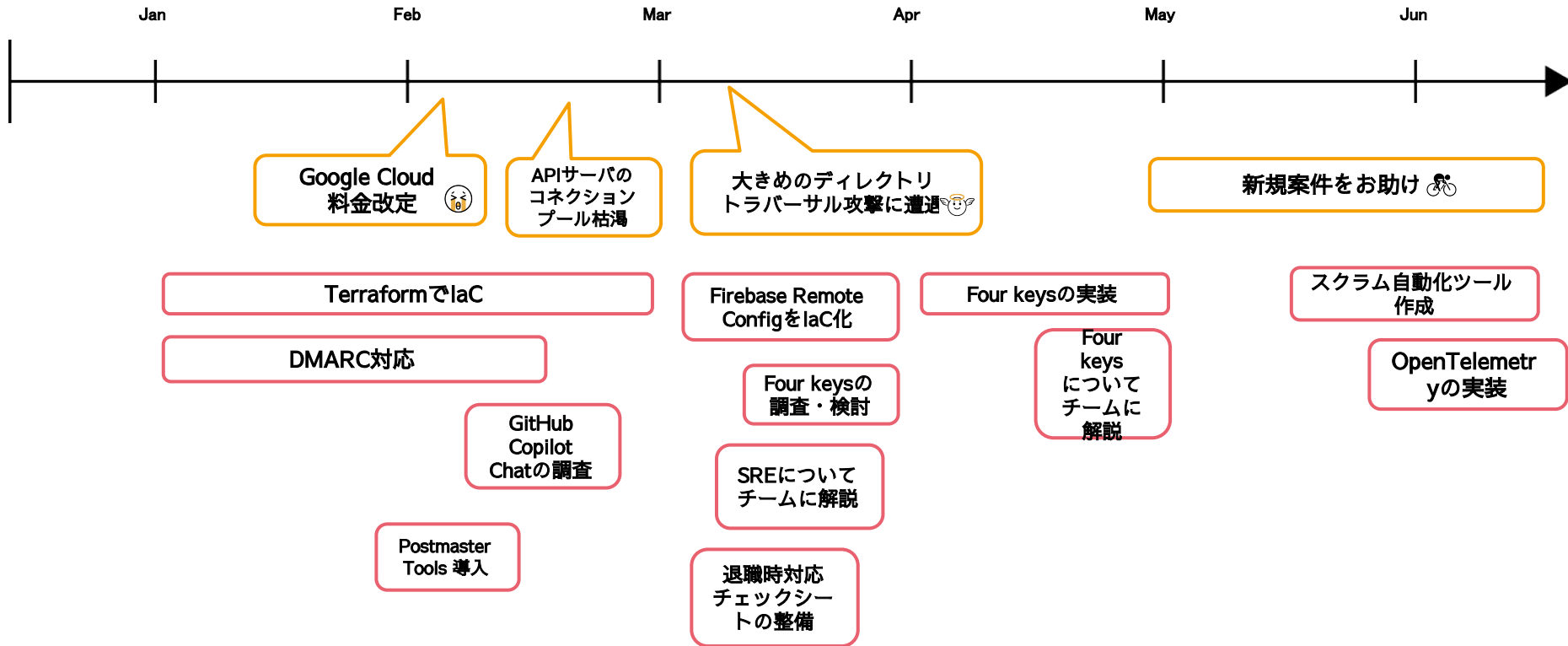
SREチーム：

SREチーム：1名



1年でどこまでやれた
か！？

- やったこと
- 起こったこと





DMARC対応

Googleが「メール送信者のガイドライン」を制定し、準拠しない場合にはメール送達が規制されるようになりました。



- メール の 到達率や開封率の低下
 - なりすましメールの対象になりやすい
-



- DMARCレコードの追加
 - 認証失敗時の処理方法を徐々に厳しくする
(none → quarantine → reject)
-



Terraform IaC

プロジェクトの初期から着手しなかったTerraformにやっと手を付けられました。すべてのリソースをIaCにできてはいませんが、徐々に拡大中🤖👏



- GCリソースの管理の難化
 - 開発チームのGCリソース作成へのハードル
-




- 一部のGCリソースをIaC化
 - HCP Terraformを利用して、よりTerraformを管理しやすい形に
-



GitHub Copilot Chat

去年にGitHub Enterprise Cloudへorgを移行し、GitHub Copilotを組織として使えるようになり、GitHub Copilot Chatの可能性を模索した



- 初期は日本語入力がおかしかった → GH側に問い合わせ
 - Knowledge basesはうーん・・・ 
-

俺 syossan27 on Feb 28

When I type Japanese in Copilot chat, the message is sent when I press the enter key after conversion.
I am having trouble typing sentences in Japanese if this is not corrected.
Please check the attached video.

feedback.mov ▾

報告してすぐに直してもらいました 😊
GitHub公式コミュニティのDiscussions、皆も使おう！

去年にGitHub Enterprise Cloudへorgを移行し、GitHub Copilotを組織として使えるようになり、GitHub Copilot Chatの可能性を模索した



- 初期は日本語入力がおかしかった → GH側に問い合わせ
 - Knowledge basesはうーん・・・
-



- 日本語に強くなってきたらワンチャン？
 - アタッチするKnowledge baseを最適化したらもっと良くなる？
-



Firestore Remote Configを IaC化

Terraformでは全てのリソースが扱えるわけではなく、Firestore Remote ConfigはIaCできなかつたので無理くりなんとかしてみた



- FRCテンプレートの変更をコンソールからやらなければならない
(オペミスを防ぐための同期的なダブルチェックが必要)
-



- テンプレートの変更のみが管理できればよかった
 - GitHub Actions, Firestore Admin SDKを使って実現
-



Four keysの実装

昨今、開發生産性が声高に叫ばれていますね。SREsとしてFour keysを計測できるようにしましたが、正直上手く扱えていないというのが現状です。（難しい...）

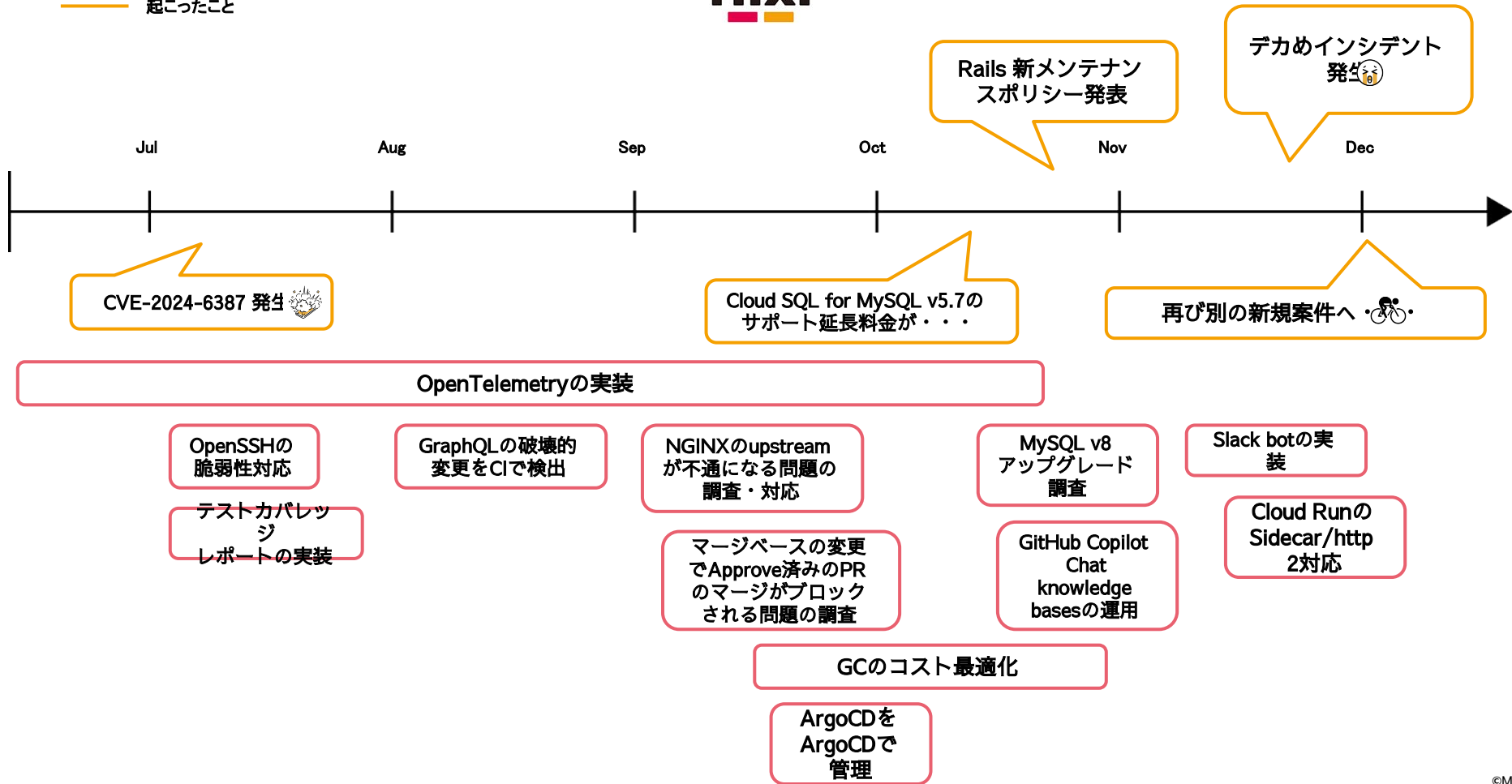


- Four keysの学習, 実装, 啓蒙
 - Findy Team+などを使わず、GHA, BigQueryを用いた計測
-



- 優先度を上げなければいけないタスクが増えてきた
 - 継続的なメンテナンス, 運用にはリソースが必要
 - 小規模ビジネスには必要ないのでは？という懷疑
-

— やったこと
— 起こったこと





OpenTelemetryの実装

o11yに対する施策として、OpenTelemetry（以下、OTel）の実装を行いました。FE/BEの一貫したトレースログが取れるようになり、インシデント時等に役立っています。



- FEでは手動計装、BEでは自動計装で実装
 - トレースはCloud Traceに送信し、収集
-



- 自動計装は一瞬で終わったが、手動計装がめちゃくちゃ時間かった
 - とりあえず導入したという感じなので、Attrの内容とか詰めたい
 - ピヤッとやるならDatadog, New Relic, Splunkだがお金が・・・
-

NGINXのupstreamが不通になる問題の調査・対応

ある日を境に、急にNGINX → APIの疎通が1~2sほど取れなくなるように・・・稀な発生で、致命な問題には繋がらなかったが対応することに



- NGINXの設定を見直したが効果なし (keep-aliveなど)
- 発生前にGKEのアップグレードが走っていたため、リリースノートから怪しい修正箇所があるverまでアップグレード (効果なし)
- k8sのISSUEを洗い出し、kube-proxyの初期化におけるバグが怪しかったため、GKEを最新verまでアップグレード
(<https://github.com/kubernetes/kubernetes/pull/126689>)



- 直った！が、原因調査でk8sの調査に至るまで時間がかかった
- kube-proxyの動きなど、なあなあで済ませていたのでk8sをもっと学ばねばいけない

MySQL v8 アップグレード調査

Cloud SQL for MySQLにv5.7の延長サポート開始が迫ってきました。
これを機に、MySQL v8へのアップグレードを行うためにまずは調査から。



- vCPU単位で課金が発生 (1vCPU = \$66.43/month)
 - 3年経過でさらに倍の課金額に
-



- Upgrade Checker Utilityを用いてアップグレード時に問題になりそうな箇所を洗い出し
 - デフォルト照合順序の変更, インプレース アップグレードなど必要になりそうな要素を学習
-



Slack botの実装

「GCの一時権限が気軽に付与できたらいいなー」という声があり、
チーム向けのSlack botを作成してIAMに対して一時権限を付与する機能
を実装



- GCの条件付きロール バインディングを利用して、特定期間のみ機能するロールを付与する
-



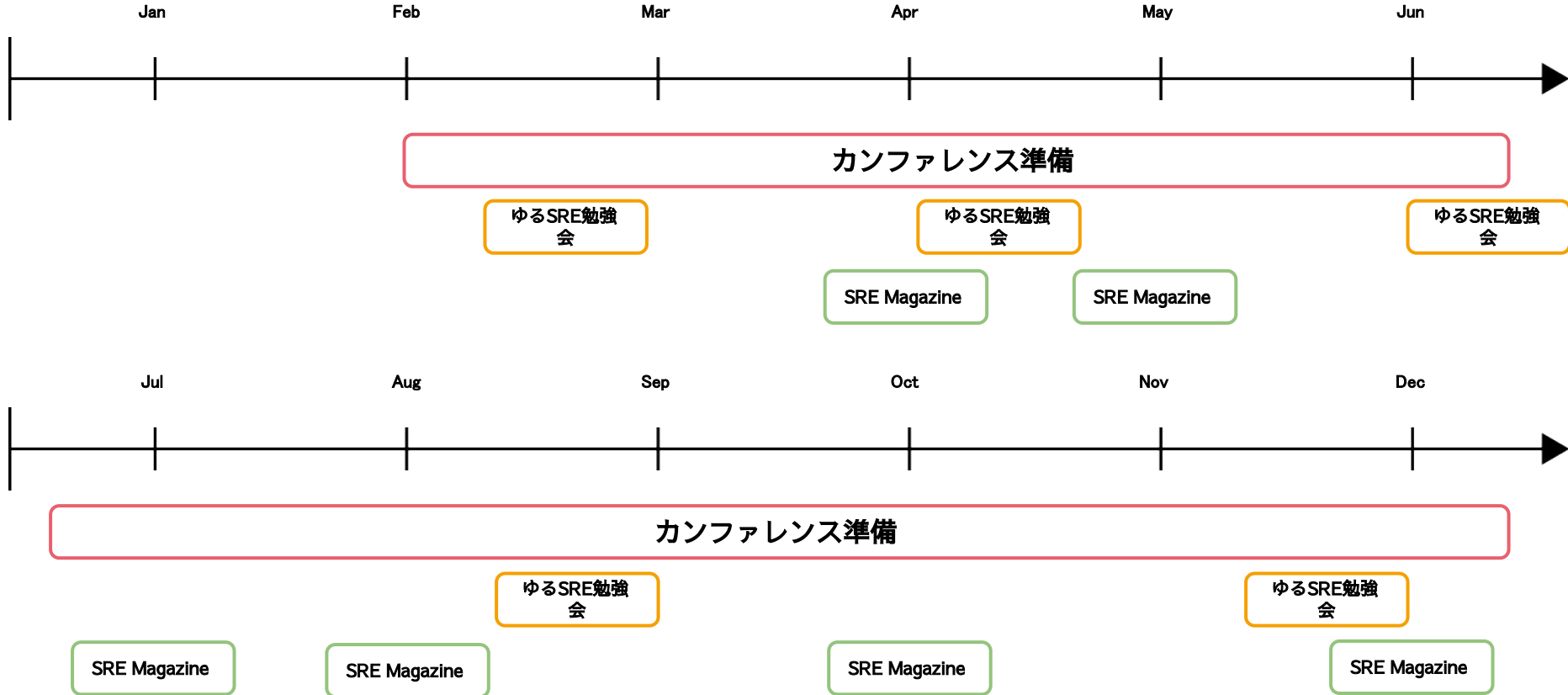
- 開発チーム, QAチームの抱えていたトイルの解決
 - 今後のSlack botの利活用
-



振り返ってみると
一人でも色々やることができた



これだけじゃないぞ！



Jan

Feb

Mar

Apr

May

Jun

カンファレンス準備

プライベートもめっちゃくちゃ忙しかった！！！！

Jul

Aug

Sep

Oct

Nov

Dec

カンファレンス準備

ゆるSRE勉強会

ゆるSRE勉強会

SRE Magazine

SRE Magazine

SRE Magazine

SRE Magazine

それでも人間なんとかなる！





気合と根性があれば

それでも人間なんとかなる！





**仕事もプライベートもやりたい
ことがあったら何でもやる
う！！**



ご清聴ありがとうございました

